

# 『学校施設の評価の在り方について～学校施設の改善のために～』 (最終報告)のポイント

## 文教施設企画部施設企画課

学校施設整備指針策定に関する調査研究協力者会議(主査:辻村哲夫 近大姫路大学教育学部長)では、学校施設の評価の在り方について調査研究を行い、平成21年3月、最終報告を取りまとめた。

### 学校施設を巡る様々な課題



- すべての子どもたちが安心して学習でき、豊かな学校生活を送るためには、子どもたちにとって大切な教育環境である**学校施設を適切に維持・改善**していくことが不可欠。
- 学校施設の適切な維持・改善のためには、**評価を通して施設の実態を『可視化』し、また評価サイクルを継続的に循環**させることが重要。
- 継続的な循環により、**施設の維持・改善に関する情報が『蓄積』され、学校・設置者が『共有・活用』**することで、より効率的・効果的な施設の維持・改善が可能。

### 施設評価の目的

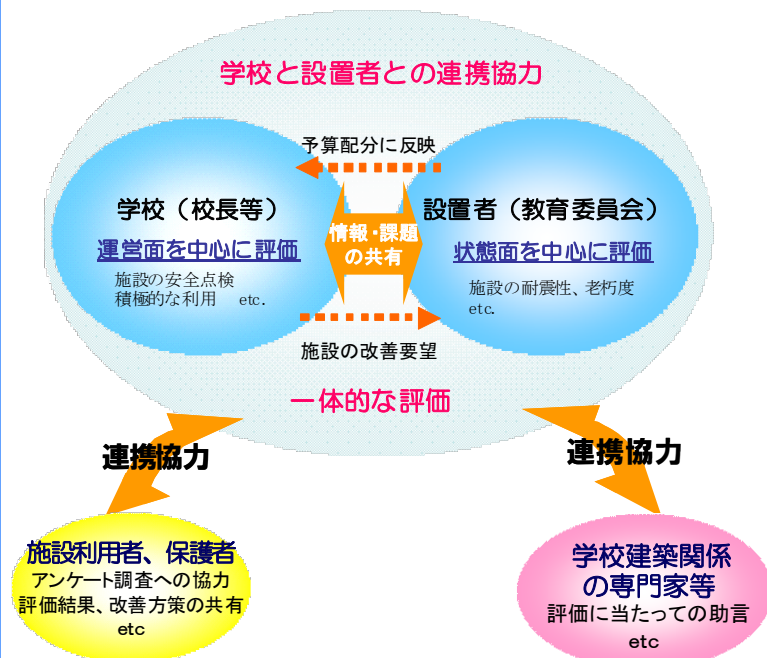
- ・自律的・継続的な教育環境の維持・改善により、**良好な教育環境を確保**。
- ・施設の課題等を情報共有することにより、**学校・家庭・地域の連携協力による改善を促進**。
- ・学校施設の**効率的・効果的な整備・活用等を促進**。

### 施設評価の定義

- ・学校施設の評価は、**学校と設置者が連携して、すでに様々な機会に実施されている施設に関する取組状況等を総合的に把握し、評価した上で、一体的な学校施設の維持・改善に活用**することを目的として行うもの。

### 施設評価の実施に当たっての考え方

- ・設置者・学校の**両ニーズを踏まえた施設整備計画の策定が可能**。
- ・状態面・運営面の両課題の**一体的な検討により多様かつ柔軟な対応が可能**。



施設評価における学校と設置者及び施設利用者、学校建築関係の専門家等との連携協力(イメージ)

### 評価項目・指標の参考例

- **安全性**
  - ・耐震化、老朽化対策等の状況
  - ・安全点検等の実施状況 など
- **快適性**
  - ・バリアフリー設備の整備状況
  - ・環境衛生に関する点検の実施状況 など
- **学習活動への適応性**
  - ・学習環境の質的な整備状況
  - ・学習活動における施設の活用状況 など
- **環境への適応性**
  - ・環境を考慮した整備の状況
  - ・環境教育における施設・設備の活用状況 など
- **経済性**
  - ・中・長期の計画的・効率的な修繕・整備状況
  - ・ランニングコストの適正化の状況 など